

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ピース		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 1日		～ R8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	R8年 2月 1日		～ R8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者、本人のニーズにあった支援	日ごろからの関係づくり、相談や情報交換を大切にして支援に取り組んでいる。	今以上に面談に対応できる体制を整える。 相談に対応できる知識、スキルを身に付けられるように職員間でも事例検討や研修を行っていく。
2	将来を見据えた人との関わり、スキルを磨くための支援	幅広く経験を積んだスタッフがおり、職員間での利用児童に対しての見立てや、接し方など、検討する機会を多く作り支援に取り組んでいる。	新しい知識、情報を得るための研修の場や講演会への参加を目指していく。 また知識を職員全体で共有し支援に生かせるように事業所内でも研修を行っていく。
3	関係機関との連絡体制	必要な情報共有をこまめに行っており、支援の方向性や内容、家族との連携など、事業所だけの意見ではなく関係機関との共有を行い支援に取り組んでいる。	必要な情報を関係機関に相談できるよう、職員一人ひとりが意識して、事業所内での情報共有を今以上に行える体制を整えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会	地域の課題として、事業所交流会等がほとんど行われていない現状がある。	まずは現状を把握するために、他事業所等との意見交換を行っていく。
2	父母の会、保護者会の整備について	保護者会活動については、現状保護者からも声も上がっておらず開催には至っていない。	希望者があれば、保護者間での情報共有ができるように事業所が声をかけて交流の場を提供できる体制は整えておく。
3			